

今年も各支部はクリーンアップ作戦に汗を流す

ポランテア草刈り〈萩支部〉

平成十二年七月十一日。小雨のばらつく中、今年も萩・阿武地域の「ポランテア草刈り」が萩周辺四路線（笠山越ヶ浜線・萩川上線・萩篠生線・国道三二五号）で行われました。

朝九時、作業が開始された笠山越ヶ浜線地区を取材しました。八回目の今年も、草刈りに最適なこの時期、一斉に行われます。「毎年、できる限り同じ人に出てもらっているんです。だから、ほとんどの皆さんがベテランの人達です



古川数幸さん
「よ」と、この地域担当の萩・阿武建設協同組合専務理事・古川数幸さんは言われます。「な

ぜなら、この地区は笠山へ登る道路両側の草刈りが主です。片側は石垣、一方は崖のちよつと手こずる場所ですし、傾斜のある石垣の上で背の高い草を刈るには、かなりの『慣れ』が必要ですからね」と。たしかに見ていると草刈り機は器用に大草を刈り取り、石垣にか



刈り取った草はトラックへ

らむ、小草やつるは鎌が刈る。それを箒で集めて手早くトラックに積み込むといった見事な連携プレーを見せてくれます。「みんな何回か参加してキャリアを積んだ人達で、要領は分かっていますから作業は早いんです。彼らでないとしたらこの時間では終わらないでしょう」と語る古川さんは「この草刈りはこ



傾斜のある石垣上の作業

道の日・美化運動〈美祿支部〉

八月十日は「道の日」です。全国でも道路の清掃活動が行われ、県内でも各市町村職員や、

民間のポランテアが一日、周辺道路の美化に汗を流しました。

ここ美祿でも美祿支部の皆さんが「クリーンアップ作戦」に参加しました。美祿では県土木関係と市役所職員四八名とともに、建設業協会美祿支部も加盟二社から三人ずつ参加。総員六六名の協会員が集まりました。

ノボリを立てて市民にもアピール



小さなゴミも丁寧に集める



八時四〇分、出発式。「交通量が多いのでくれぐれも事故、怪我等がないように！」との注意の

後、それぞれの担当地域へ分散して作業が開始されました。国道四三五号と国道三二六号のゴミと空き缶の収集が主な仕事です。それぞれにゴミ袋を持ち、歩道や街路樹の中のゴミも見逃すことなく拾っていきます。「たばこや空き缶のポイ捨てが多いですね。日頃はきれいな道なのであまりゴミなんてないと思っていたが、民家のない所は特に多いです」と作業されている人の話。空き缶、空ビンだけでなく、ペットボトルやビニール袋なども多いようです。こうして半日、それぞれにいつぱいになった袋を持ち帰ってきました。集められたゴミは、協会支

集めたゴミの分別作業



部前で細かく分別され、四台のトラックに積み込まれてリサイクルセンターへ焼却場へ運ばれていきます。「道の日」、日本全国の道路がピカピカになったはずですが。

本番さながらの防災訓練

えっ!? 山陽町で台風と大地震が!!

「大型で非常に強い台風が毎時三〇キロメートルの速さで山口県に向かっていて。なおかつ台風上陸時には大潮の満潮時と重なる。さらに、この時マグニチュード七・二の地震も発生する!」という最大最悪の災害が起こった!と言ってもこれはあくまでも「平成十二年度・山口県総合防災訓練」のために想定された状況です。

ました。参加機関五五・約八〇〇人の人々たちによる防災訓練が始まりました。下関気象台から台風情報が寄せられ、被害状況が報告されると、県警は災害警備本部、県と山陽町は災害対策本部を設置します。そして、警察、消防団、自衛隊などのさまざまな機関が日頃の訓練の成果を披露してく

高所に取り残された人の救助訓練



自衛隊による救助訓練



はいかない。そんな時には、やはり地域に根ざしている我々の力が重大になるでしょう。そのためにも、今日のような訓練は「どうしたらいいか?」を経験で知るために、よいチャンスであったと思います。二井知事の「地域防災を常日頃から心がけて欲しい」という閉会の言葉で大規模防災訓練は無事終了しました。

バックホーを使った訓練



なりました。参加機関五五・約八〇〇人の人々たちによる防災訓練が始まりました。下関気象台から台風情報が寄せられ、被害状況が報告されると、県警は災害警備本部、県と山陽町は災害対策本部を設置します。そして、警察、消防団、自衛隊などのさまざまな機関が日頃の訓練の成果を披露してく

ます。すべての災害で、今日のように各機関が即座に対応できれば、災害もかなり防げると思います。しかし、いつでもこのように

閉会式

